

第55回名古屋市障害者作品展示会に寄せて

障害者作品展と名身連

今年度55回を数える名古屋市障害者作品展示会は、全国的に見ても長く続いてきた**大規模な公募展**です。毎年、300名以上の方から出品があります。

昭和24年に障害当事者団体からスタートした名身連は、名古屋市との共催で当初から作品展の運営に携わってきました。代々の会員や職員が、作品募集から搬入、展示、授賞式まで、協力して手がけてきたのです。

私たちにとって作品展は、たくさんの笑顔に出会える大切なイベントです。地元の事業団やテレビ局より提供いただいた賞を受け、晴れ舞台にのぼる人たち。大きな会場に展示された自分の作品、仲間の作品を見に来るのが楽しみな人たち。何よりこの日を目標に一人ひとりが制作に取り組んできた長い時間の積み重ね。会場はいつも、**参加する喜び**に満ちあふれているのです。

このように誰にでも開かれた作品展を半世紀以上にわたり開催してきたことを誇りに思いつつ、私たちは新たに**法人の独自事業**として、障害のある人たちのアート活動を福祉的な視点で支援する取り組みをスタートしました。

平成30年度から名身連ホームページに新設された「バーチャル作品展」は、パノラマ画像と鮮明な作品写真のギャラリー※を併せもち、会場を訪れることができない方でも臨場感たっぷりに作品を鑑賞することができます。「バーチャル作品展」により、誰もがアートを楽しめるアクセスのバリアフリーを実現することができました。

また、福祉の現場で**障害のある人の創作活動を支援する人たち**に向けて、ワークショップやギャラリートークを開催しています。令和元年度は、大阪の国際障害者交流センターから鈴木京子さんを招き、福祉的視点で企画した独自の展覧会のお話を伺いました。全国的に障害者アートの注目度が増すなか、ここ名古屋でもアート活動が盛んになることを願い、名身連は今後も様々な取り組みを展開していきます。

※ギャラリーは令和元年度から

名古屋市障害者作品展示会とは

名古屋市と名身連の共催事業で、市内在住勤の障害のある人から応募のあった作品を全て展示する公募展です。名古屋市長賞を始め、在名の事業団とテレビ局から提供を受けた各賞が授与されます。

共催:名古屋市

後援:名古屋市社会福祉協議会、城西福祉会、中部善意銀行、

中日新聞社、中日新聞社会事業団、朝日新聞厚生文化事業団、毎日新聞大阪社会事業団、NHK厚生文化事業団中部支局、東海テレビ放送、東海テレビ福祉文化事業団、メ~テレ、中京テレビ放送(株)、CBCテレビ、テレビ愛知



バーチャル作品展とは

名身連の独自事業で、障害者作品展のサテライト企画として平成30年度から実施しています。作品を展示した状態で会場をパノラマ撮影し、名身連のホームページに掲載します。会場を訪れることができなくても、会期中の雰囲気をそのまま楽しむことができます。令和元年度に新たに設置したギャラリーには高画質の作品写真を掲載し、一点一点じっくり鑑賞することも可能になりました。折しもコロナ禍のなか、ステイホームで楽しめる作品展のニーズはますます高まっています。

その他サテライト企画について

バーチャル作品展に加え、ワークショップやギャラリートークを開催しています。私たちの作品展は福祉の実践と切り離せないものであり、支援をする人の存在もとても大切だと考えています。障害のある人の創作活動に携わっている人の学びや情報交換の場となるようなイベントを企画し、名古屋のアート活動を側面からも盛り上げます。

作品展と名身連を応援してください

バーチャル作品展他のサテライト企画は、愛知県共同募金会からの配分金(令和2年度より)と、名身連の賛助会員の皆さまのご寄付により運営しています。長い歴史をもつ作品展が、障害のある人の社会参加の場となり、福祉の実践の場となり、何より笑顔と喜びにあふれた場であり続けるために、私たち名身連は毎年取り組んでおります。一度是非リアルとバーチャルの会場をお訪ねください。心よりお待ちしております。

賛助会員についてのお問い合わせは **名身連事務局** まで

電話 : 052-682-0878

メール : jimukyoku@meishinren.or.jp

H P : <http://meishinren.or.jp/>



名古屋市障害者作品展示会サテライト企画は赤い羽根共同募金配分事業です。